

令和 3 年度

第 1 回芽室町図書館協議会議事録

と き 令和 3 年 11 月 25 日 (木)

15 : 55 ~ 16 : 50

ところ 芽室町図書館視聴覚室

芽室町教育委員会生涯学習課図書館係

○会議次第

- 1 開会
- 2 生涯学習課長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 委員長・副委員長の選出について
- 5 議案
 - (1) 芽室町図書館利用統計について
 - (2) 芽室町図書館施設整備状況について
 - (3) 電子図書館について
 - (4) その他
- 6 その他
 - (1) 今後の日程について
 - (2) その他
- 7 閉会

○出席委員（敬称略）

久保 睦則 佐藤 康則 森 エリ子 山下 正 栗栖 尚子 田中 美佐枝

○欠席委員

阿部 立 鈴木 厚美

○傍聴人 なし

○事務局

生涯学習課長 日下 勝祐
図書館館長 藤澤 英樹
図書館係 白取 詩絵里

午後3時55分 開会

- 1 開会 図書館長
- 2 生涯学習課長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 委員長・副委員長の選出について

【図書館長】選出方法について御提案はありますか。

～ なし ～

【図書館長】ないようですので事務局案を提案することに御意見ありますか。

～ なし ～

【図書館長】委員長に山下正さん、副委員長に栗栖尚子さんを提案しますがよろしいでしょうか。

～ 全委員 了 ～

【図書館長】では山下委員長に進行をお願いします。

5 議案

●（１）芽室町図書館利用統計について

【委員長】議案（１）芽室町図書館利用統計について事務局より説明をお願いします。

【図書館長】 - 別紙資料に基づき説明 -

【委員長】この件について御意見、御質問はありますか。

【森委員】本の宅配はどのくらいの方がご利用したのか。

【図書館長】令和２年度は９２世帯、１２２人、９９３冊、令和３年度は６月が、４１世帯、４９人、３３５冊。９月が１４２世帯、１５２人、９０１冊の貸出を行った。

【生涯学習課長】本の宅配について、令和２年度の休館時は帯広、音更、幕別などの近隣市町村も休館したが、今年の２回目の休館の際、帯広市図書館が制限付で開館した。芽室町でもそういうやり方ができないかという声もあったが、令和２年度に宅配事業を始めたときの全国的な状況が「外出を自粛してください」という期間であったことから、お越しいただくのではなくてこちらが出向いて利用していただくという考え方で始めたものであり、今年の実施についても同じような考えで行ったものである。

【委員長】この件について他に何かありますか。

～ なし ～

●（２）芽室町図書館施設整備状況について

【委員長】議案（２）芽室町図書館施設整備状況について事務局より説明をお願いします。

【図書館長】 - 資料に基づき説明 -

【委員長】この件について御意見、御質問はありますか。

【委員長】セルフ貸出ロボットとは具体的にどのようなものか。

【図書館長】動物型で、ロボットの指示に従い利用者カードと本のバーコードをスキャナーにかざすと貸出手続きができるというもの。また、本来これはシステム購入の費用に含まれてはいないが、新開発のマシンで、業者側から開発のための使い勝手等の検証を行いたいとのことで提案を受け設置とするものである。

【森委員】自分でカードを入れてバーコードを読み取るということか。

【図書館長】そのとおり。初めての方には職員のサポートが必要かと思うが、慣れていくにしたがって自分で貸出手続きをしていただけたら考える。

【森委員】貸出だけでなく返却処理もできるのか。

【図書館長】機能的には可能だが、返却もれを防ぐため職員が行う。

【栗栖委員】新機能の導入にあたり、今持っている利用者カード以外にまたカードなどが発生することはないか。

【図 書 館 長】カードは現状のリライトカードをそのまま使っていただく形である。もしカードを忘れた場合に個人のスマートフォンでバーコードを表示し貸出を受けることができるようになるというもの。

【森 委 員】別途手続きがいるのか。アプリをダウンロードするような形か。

【図 書 館 長】具体的にはそこまでではないと思うが、そのページに入らなくてはいけないものではある

【委 員 長】この件について他に何かありますか。

～ なし ～

●（３）電子図書館について

【委 員 長】議案（３）電子図書館について事務局より説明をお願いします。

【図 書 館 長】 - 資料に基づき説明 -

【委 員 長】この件について御意見、御質問はありますか。

【委 員 長】帯広の例を見ると、児童１人１人がタブレットなどを持っているとのことだが、芽室町はどうなっているのか。

【図 書 館 長】芽室町も同じく今年３月に児童生徒に１人１台配布している。ただ自宅への持ち帰りはしておらず、学校でのみの使用としている。

【森 委 員】将来的には全て電子図書館にするのか。

【図 書 館 長】紙の本と電子図書の得意分野を使い分けながら、全体の購入費用とのバランスを考え検討していく。著作権の関係や通信状況、機器の進捗、技術革新の状況にもよるが、紙物の良さというのはなくせないものではないか。当面はハイブリットという形でいくと考える。

【委 員 長】私もやはり紙の本のほうが親しめるのかなと思う。技術関係の本はよくても文学関係は紙の本でじっくり見たいという思いもあるし、資料７ページの帯広市の例の最後に、栄小学校の教頭先生のコメントで「本に囲まれた空間でじっくりと読める環境も必要。電子書籍とうまく使い分けられるよう指導したい」とあり、やはりこれが大事ではないかなと感じた。

【森 委 員】年齢の高い方の中にはなかなかこういったものに親しめない方もいるのではないか。もちろん文字を拡大できるなどのメリットもあるが、Wi-Fi の環境がないというお宅もあるので、全てを電子図書にして欲しくはない。

【生涯学習課長】今時点で紙の図書がなくなるということは全く想定していない。

【森 委 員】５番代（技術）、７番代（芸術）が電子図書に適しているという話もあったが、この分野はほとんど電子図書になると、それを使えない方もいる。

【田 中 委 員】学校の朝読書などにはすごく活用できると思う。教員時代、教科書に掲載されている小説をもう少し発展的に読ませたいということがあったが、以前はこういう便利なものがなかったので苦労した経験がある。これを使って授業ができるとそうい

った発展的な形の読書に対してすごくハードルが低くなる。電子図書をどこでどう活用させていくかというのを考えたときに、やはり学校で利用していくとすごく有効な学習ができるし、またそれが子どもの読書のきっかけになるのではないかと思った。今中学校では朝読書はされているのか。

【久保委員】行っている。少し別の話になるかもしれないが、2024年には紙の教科書がなくなり全てが電子教科書に移行するので、そういった部分が関連していくのではないか。

【田中委員】生徒は朝読書のためにそれぞれ自分で本を持って登校しているのか。

【久保委員】校内の図書室の本を借りたり自宅から持ってきたりして読んでいる。

【田中委員】こういった利用ができればまたずいぶん違ってくる。

【久保委員】個人的には全てが電子図書になるのはどうなのかなという感じがある。読み上げ機能などがあるとYouTube化してしまい、読む力の低下につながるのではないかと懸念している。

【生涯学習課長】時間をかけていろいろ調査をさせていただいて取り組んでいく。今のところは令和5年から少しずつ導入する予定で、令和4年に図書館協議会内でデモンストラーションを行い、ご意見をいただきながら進めていきたいと考える。

【委員長】この件について他に何かありますか。

～ なし ～

●（４）その他

【委員長】その他で何かありますか。

～ なし ～

【委員長】では議案はすべて終了しました。事務局に進行をお返しします。

6 その他

●（１）今後の予定について

【図書館長】－別紙資料に基づき説明－

【図書館長】この件について御質問はありますか。

～ なし ～

●（２）その他

【図書館長】その他についてはとくにありません。本日はお忙しい中お集りいただきましてありがとうございました。それではこれで令和3年度第1回芽室町図書館協議会を終了したいと思います。お疲れ様でした。

閉会 午後4時50分